

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）において、  
当法人が実施した事業について報告いたします

# 事業報告書 2023



**NPO法人やまぐち県民ネット21**

---

## 目次

- 01. やまぐち県民ネット21 実施事業の概要
- 02. 2023年度 業務実施状況
- 03. センター運営状況
- 04. 

pickup
--------

 ボランティア活動推進
- 04. 

pickup
--------

 あいかさねっつについて
- 05. 受講者・参加者／施設利用者  
満足度アンケート結果
- 06. 次のステップ

# 01. やまぐち県民ネット21 実施事業の概要

★以下、2023年度にやまぐち県民ネット21が取り組んだ事業概要の一覧です。  
★下掲表中、「定款」欄にある番号は、同定款第5条に掲げる下記の事業に該当することを意味します。

- ①県民活動の調査研究及び政策提言に関する事業
- ②県民活動団体のネットワーク化に関する事業
- ③県民活動団体の助言及び支援に関する事業
- ④その他本会の目的を達成するための事業

コンプライアンス

NPO相談

支援力研修

プロボノ促進

ボランティア参加促進

預金  
休眠

協働

SDGs

災害支援

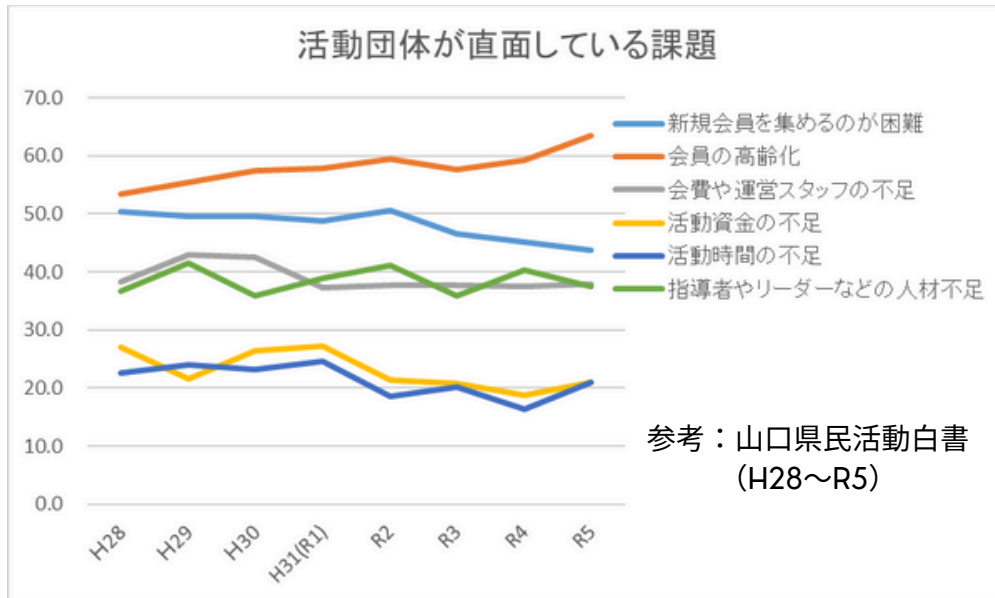
公益活動支援のネットワーク



# ★今年度取り組んだ事業の概況

今後、住民の人口バランスが大きく変わる流れにある中、従来の社会基盤や諸機能を支える人材や担い手が不足してくることが懸念されます。

また、時代の変遷に伴い、既存の（または新たに顕在化された）社会課題の解決に臨む主体である市民活動団体等のメンバーも高齢化も目立ち始めています。



そのような中、「地域の担い手・活動団体の担い手」増加を図りつつ、令和5年度は主に下記のような事業に取り組みました。

## 1. 市民活動団体・NPOの基盤強化

→ 従来より継続的に取り組んでいるもので、各活動団体が組織運営における基盤強化につながる知識やスキルを身に着けるため取組み。

例：会計税務・労務・情報開示などの研修の実施

NPOが官民の多組織と「契約」を結ぶ際の留意点を学ぶセミナーの開催  
組織における「人と人の関係」を考える会を開催（コミュニティマネジメント）  
ITなどの専門家によるボランティア「プロボノ」による団体支援の環境整備

## 2. ボランティア活動の促進

→ 新たにボランティアに接する・参画する人たちの増加を図る、またはボランティア受入れのあり方を学ぶ機会を提供する取組み。

例：高校生や大学生に対してボランティア体験をする機会を広く提供

様々な専門家が活動団体を支援する「プロボノワーカー」の発掘や呼びかけ  
「ボランティアと団体のいい関係」を学ぶボランティアマネジメント研修開催  
LINE配信によるボランティア募集情報の随時発信

## 3. 市町民活動支援センターとの連携や個別支援

→ 以前に引き続き、県内に点在している市町域の市民活動支援センターと随時連携するほか、リニューアルするセンターのセットアップ等に関して支援する取組み。

例：若者のボランティア参加・参画促進事業をめぐる各センターとの連携

協働ファシリテーションに関する情報共有会議の開催や学習の機会提供  
新しい運営体制でリスタートするセンターに対する新任スタッフ研修の協力

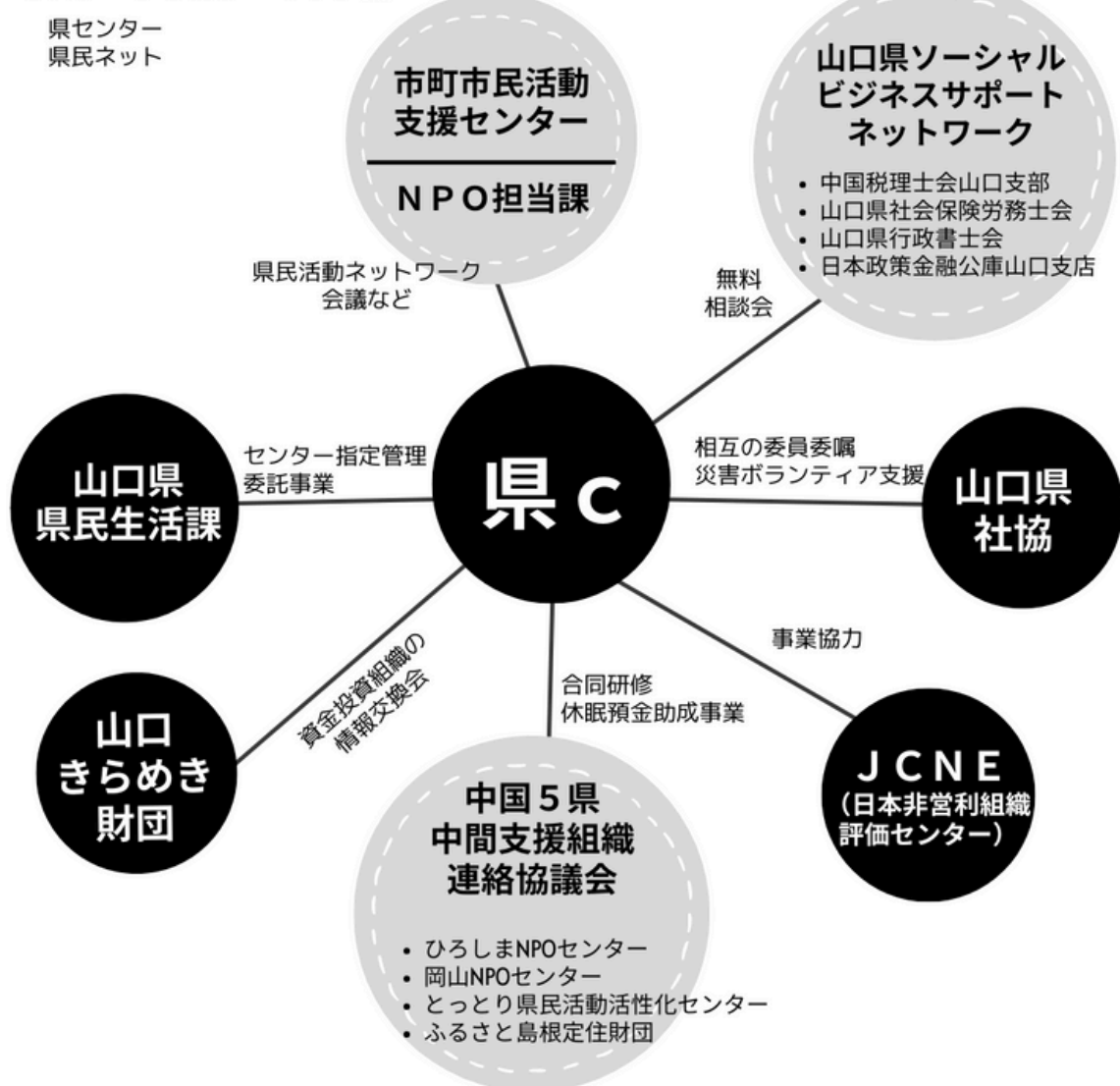
	事業名	実施期間	定款	実施エリア	従事者	収支額
1	やまぐち県民活動支援センター指定管理業務	通年	①②③④	山口県内	8名	△ 13,221
	<b>★事業内容</b> 山口県からの指定管理事業。公益活動およびその実施団体の支援を目的とする「県民活動支援センター」を運営。主に、相談対応や研修の企画実施、情報の受発信等に関する業務を実施。 <b>★事業対象者・受益者</b> 県民活動団体、NPO法人、中間支援組織、NPO等行政担当課、公益活動に関わる人や組織					
2	プロボノによる県民活動基盤強化事業	通年	②③	山口県内	9名	△ 367,245
	<b>★事業内容</b> 県民活動団体が年間を通じてプロボノ（職能ボランティア）を利用できる体制を整備・運営し、プロボノの活用による団体の人材育成・確保や組織基盤の強化を促進。 <b>★事業対象者・受益者</b> 県民活動団体					
3	未来をつなぐ！若者の県民活動促進事業	通年	②③	山口県内	8名	214,459
	<b>★事業内容</b> 若者の県民活動への理解を促進するとともに、県民活動団体や高校・大学等と連携して若い世代に対して参加機会の創出や参加しやすい環境づくりを行い、県民活動の裾野を拡大。 <b>★事業対象者・受益者</b> 高校生や大学生などの若い世代、県民活動団体等					
4	協働ネットワーク強化による県民活動促進事業	通年	②③	山口県内	8名	22,932
	<b>★事業内容</b> 県民活動団体が多様な主体と協働できる体制整備を図り、協働による地域課題の解決に向けた取組みを推進すべく、主に県内市町民活動支援センターに対して研修や個別支援を実施。 <b>★事業対象者・受益者</b> 山口県内の市町民活動支援センター					
5	休眠預金活用助成事業【2020通常枠】	通年	①②③	山口県内	2名	△ 72,364
	<b>★事業内容</b> 中国地域各県の県域中間支援組織で構成されるコンソーシアムに所属し、休眠預金を活用した助成金の交付ができるよう関連した取組みを実施。 具体的には、様々な事情を抱えたこどもや若者の就学就労支援を行う2つの団体を伴走支援。 <b>★事業対象者・受益者</b> 休眠預金活用の対象となる社会的課題を抱える関係者及びその解決に臨む団体等 ×2団体					
6	休眠預金活動助成事業【2021通常枠】	通年	①②③	山口県内	2名	△ 9,223
	<b>★事業内容</b> 中国地域各県の県域中間支援組織で構成されるコンソーシアムに所属し、休眠預金を活用した助成金の交付ができるよう関連した取組みを実施。 具体的には、地域づくり・地域課題の解決を図る1つの団体を伴走支援。 <b>★事業対象者・受益者</b> 休眠預金活用の対象となる社会的課題を抱える関係者及びその解決に臨む団体等 ×2団体					

	事業名	実施期間	定款	実施エリア	従事者	収支額
	休眠預金活動助成事業【2022通常枠】	通年	①②③	山口県内	2名	△1,941
7	<p>★事業内容 中国地域各県の県域中間支援組織で構成されるコンソーシアムに所属し、休眠預金を活用した助成金の交付ができるよう関連した取り組みを実施。 具体的には、災害支援に関する1つの団体を伴走支援。</p> <p>★事業対象者・受益者 休眠預金活用の対象となる社会的課題を抱える関係者及びその解決に臨む団体等 ×1団体</p>					
	JCNE連携業務	通年	③	山口県内	1名	22,534
8	<p>★事業内容 日本非営利組織評価センター（JCNE）からの受託事業。非営利組織の組織的な信頼性を向上させることを目指した「組織評価」の普及や、その診断を受ける団体への訪問評価を実施。</p> <p>★事業対象者・受益者 組織評価やガバナンスに関心のあるNPO法人、公益法人等</p>					
	合同研修事業（中国5県中間組織連絡協議会）	春・秋	①②③	岡山・広島	5名	50,362
9	<p>★事業内容 県民ネットが加盟している「中国5県中間支援組織連絡協議会」が開催する合同研修の開催に協力。役職員が企画運営、および当日の科目登壇等に携わった。</p> <p>★事業対象者・受益者 中間支援組織、地域づくり支援の関係者など</p>					
	中国ろうきんNPO寄付システム運営事業	通年	②③	山口県内	2名	△93,607
10	<p>★事業内容 中国労働金庫との協働事業。中国労働金庫に預金している市民が応援したい公益活動の分野を選ぶと預金の一部が当該分野に寄付される「NPO寄付システム」という仕組みの運営に協力。</p> <p>★事業対象者・受益者 県内のNPO法人、本システムの寄付者</p>					
	SDGsチャレンジ事業	通年	②③	山口県内	3名	7,827
11	<p>★事業内容 公益財団法人山口きらめき財団からの委託事業。SDGsをテーマとして多様な主体による協働での社会課題解決に向けた動きを促進させるため、交流会を開催</p> <p>★事業対象者・受益者 県民活動団体、企業、中間支援組織など</p>					
	アスチカ連携事業	通年	②③	山口県内	3名	0
12	<p>★事業内容 震災による避難者が避難先で地域の支援情報等を把握できる情報紙の作成・配布を行った。また、避難者支援のためのネットワーク会議にも出席した。</p> <p>★事業対象者・受益者 山口県内に移住・定住した災害避難者等</p>					



	事業名	実施期間	定款	実施エリア	従事者	収支額
13	印刷機利用提供事業	通年	③	法人事業所内	5名	173,920
	<p>★事業内容            県民活動団体が活動をめぐって資料を作成する際の支援として、やまぐち県民活動支援センターに印刷機を設置し、その利用に関するサービス提供や管理運営等を行う。</p> <p>★事業対象者・受益者            県民活動団体</p>					
14	その他の事業	通年	①③	山口県内	2名	1,453,772
	<p>★事業内容            県民ネットのメンバーが持つ特性を活かして、外部に有償サービスを提供。たとえば、イベント開催時のZoom運営について外部から依頼を受け、事業協力を行った。</p> <p>★事業対象者・受益者            NPO支援者、中間支援組織関係者、行政担当職員、NPO法人など</p>					

●ステークホルダーマップ例



## 02. 2023年度 業務実施状況 (主に県民活動センター業務)

【センター事業】と【県民ネット事業】に分けて、実施状況を報告します。  
2023年度は、やまぐち県民活動支援センター指定管理第4期の中間年です。

区分	事業名	実施状況
1 情報・ 資料収 集及び 提供	①県民活動に関する資料の収集配架	・参照文献を適宜追加
	②メルマガの配信・情報紙の発行	・月1回発行 → 480カ所送信・76枚発行
	③情報サイトの保守管理	・情報サイト運営のほか、あいかさねっとはLINEでボランティア募集情報を随時発信
	④センターリーフレットの作成配布	・4月長門市市民活動センター設置を受けて、一部更新版を作成予定
2 相談及 び助言	①センターでの相談対応	・随時実施
	②専門家との協働による相談対応	・会計税務5団体（新設NPO法人2、NPO法人2、一般社団法人1） → 収益事業とは、法人税、親族の雇用、役員報酬、備品の扱い、アルバイトの源泉徴収、按分について  ・パソコンなんでも相談会（任意団体1） → ワードプロソフトの書式設定、文字フォントやポイントの変更、印刷方法、不要なファイル整理など
	③市町センターとの連携相談会	・市センターと連携して相談ブースの出展など実施 (例：市民活動カフェ@岩国)
	④伴走支援型の相談対応	・法人設立、または法人解散に関して継続的に支援
3 研修	①NPO事務力&組織力向上研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO学びの教室（シリーズ形式） <ul style="list-style-type: none"> <li>①法人事務編（5/18）9名</li> <li>②税務編 NPOと税金あれこれ。（7/6）31名</li> <li>③税務編 インボイス制度と電子帳簿保存法（7/13）32名</li> <li>④労務編 NPOの人材～ボランティアから雇用まで～（8/24）33名</li> <li>⑤会計編 NPO法人の会計報告書（9/21）19名</li> </ul> </li> </ul> <p>→ 税務編を2回に分けて開催。雇用でも無償のボランティアでもないNPO特有のあいまいな点をテーマに取り上げた労務編の満足度が高かった。 → 一部、センタースタッフが講師を務めるなどスタッフのスキルアップも図った。</p>



	②組織と事業の見直しセミナー	・コミュニティマネジメントセミナー (3/11) CRファクトリー 強くあたたかい組織とは 23名
	③公益活動支援スキルアップ研修	・ボランティアセミナー (2/16) ボランティアとは何か、ボランティア受入の心得を学ぶ 26名
	④コミュニティ学習会	・災害対応セミナー (3/6) 災害時の引継ぎ資料を作成 22名
	⑤県民活動の課題解決セミナー	・契約セミナー (2/2) 弁護士による解説 24名
4 交流の 機会提 供	①ワンテーマ交流・ミニ講座	・助成金をみつけよう！(4/27) 7名 ・二次元バーコードと仲良くなろう♪(5/25) 5名 ・チラシを作ってみよう！(6/14) 3名 ・はじめてのZoomみんな一緒ならこわくない(7/29) 5名、(8/4) 1名
	②県民活動ネットワーク会議	①第1回会議(5/31) 顔合わせと今年度事業について情報の共有 ②第2回会議(2/29) ステークホルダーマップの作成と共有
	③県民活動支援拠点間の情報交換	・県社協、市社協、こども食堂支援センターなどとの意見交換
	④資金投資組織の情報交換会	・「助成事業の効果」について情報交換
	⑤災害支援のNPOネットワーク	・防災セミナー 災害時のつながりづくり(11/27) 15名
5 調査及 び研究	①成果ラボ	・NPO支援の取組みに関する成果情報の収集
	②NPO法人の解散・事業承継に関する調査	・特に福祉事業を営むNPO法人等で、経営者の後継が困難で事業や組織の継続に問題を抱えるケースやその対応策を調査する。
	③NPOの現場と報告状況の調査	・イベント現場訪問や、NPO法人報告書状況を調査
	④「NPOの組織と人の関係」調査	・「市民活動、コミュニティ活動の実態調査」への協力
6 県民活 動を支 援する ために 必要な 業務	①県民活動関連機関等との連携	・県民活動促進実行委員会(県民生活課+山口きらめき財団との連携) ・フードバンク山口、こども会連合会などへの協力
	②SDGsの推進	・交流コーナーにてSDGs関連の文献・情報紙の紹介コーナーを継続設置 ・SDGsセミナー(3/19)
	③若者のフィランソロピーアプローチ	①7/28 山大社会学ゼミセンター視察(15名) ②8/15~8/19 大学生夏インターン受入(3名) ③8/29~9/2 大学生夏インターン受入(2名) ④3/27 大学生春インターン受入(1名)

センター指定管理業務以外の県委託事業	【県委託事業】 未来へつなぐ！ 若者の県民活動 促進事業	①団体活動の説明会（@大学・高校）の開催/参加団体延べ33、参加学生・生徒592名 ②ボランティア体験会（@活動現場）の開催/44回開催、22団体、参加者延べ225名 ③体験会等を活用した情報発信の強化/団体の活動紹介動画 ×4本 ⇒youtubeでの動画配信、22団体の活動紹介記事を作成
	【県委託事業】 プロボノによる 県民活動団体の 基盤強化事業	①「やまぐちプロボノワーカーク」の管理運営/全国から70名の方が登録 ②「やまぐちプロボノコンシェルジュ」の配置/延べ27団体と29名の専門家を仲介 ③プロボノ交流会・活動報告会の開催（2/23）/参加者57名
	【県委託事業】 協働ネットワーク 強化による県 民活動促進事業	①地域協働ファシリテーター養成研修の開催/計7回開催、各センターから延べ124名参加 ②市町活動支援センターへの支援養成研修/講師等とスタッフが個別支援×8センター ③情報共有会議（協働関連テーマ）/計3回開催、計78名参加
それ以外の事業	休眠預金活動助成事業	・2020年度枠（NPO法人まなびデザインラボ、NPO法人はぐ） ⇒事業報告書公開 ・2021年度枠（NPO法人ほほえみの郷トイトイ） ・2022年度枠（一般社団法人レベルフリー）
	ろうきん寄付システム運営事業	・計7法人に対して寄付金5万円を助成
	中国5県中間支援組織合同研修事業	・春の合宿研修@岡山県 2023年4月21日～22日 ・秋の合宿研修@広島県 2023年11月1日～2日
	JCNE連携事業	・評価員として、「ガバナンス認証」更新の組織評価に協力（1件）
	アスチカ連携事業	・ネットワーク会議への参加 ・避難移住者等に提供する地域情報誌「結」の発行協力
	SDGsチャレンジ事業	・山口きらめき財団からの委託で、SDGsをテーマとした交流会を開催（周南市）
	自主事業	・県民ネットメンバーの特性を外部に提供（例：イベント等でのZoom運営協力）
	印刷機利用提供事業	・県センターに設置し来所者への利用環境を提供

## ■NPO法人やまぐち県民ネット21 定款 第3条 目的

県民活動団体などのネットワーク化を促し、自主的・主体的な社会参加活動の活性化を図ることにより、県民・企業・行政のパートナーシップによる新しい県づくりに寄与するとともに、県民活動の更なる発展を目指し、社会の公益の増進に寄与すること。



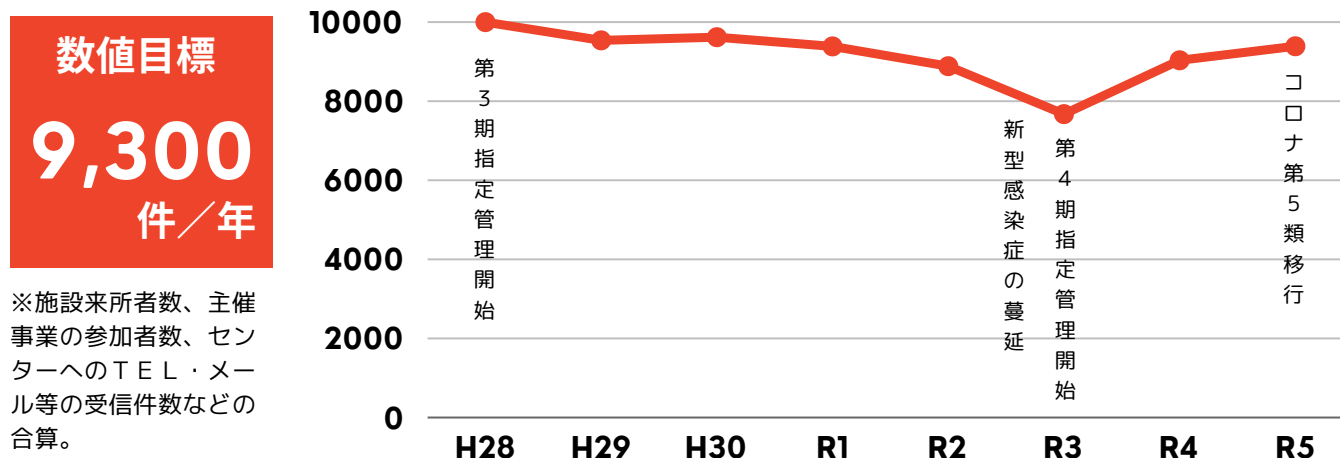
中国5県中間支援組織  
連絡協議会

休眠預金活用事業

## 03. センター運営状況

### センター利用者数

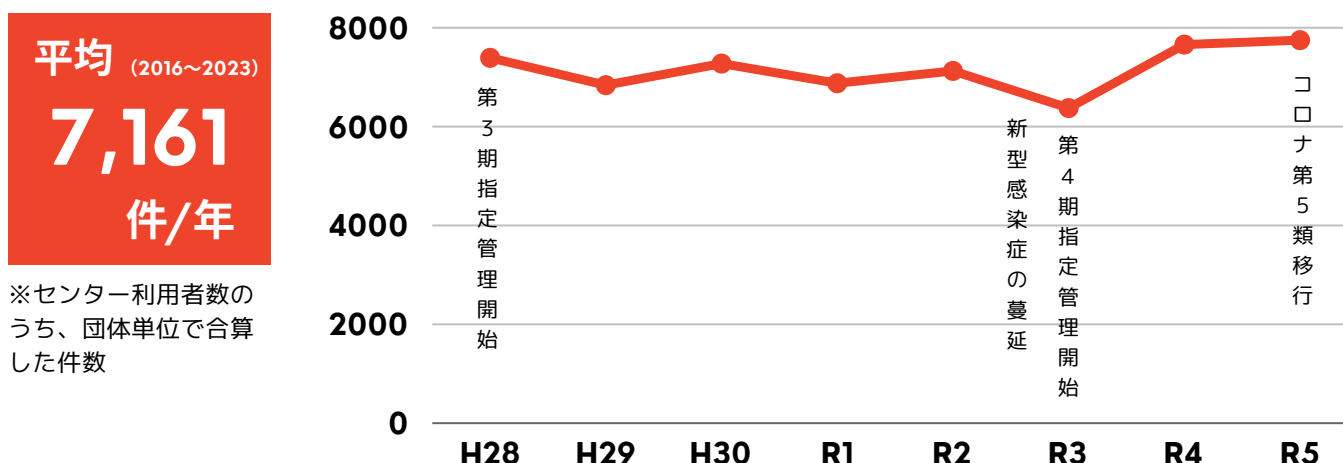
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
センター機能の利用者数	9,999	9,538	9,618	9,385	8,885	7,673	9,034	9,389



現在は、第4期の指定管理開始とともに始まったコロナ禍以前の水準に戻りつつある。昨年度より微増。

### センター利用団体数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
センター機能の利用団体数	7,391	6,838	7,275	6,877	7,126	6,375	7,659	7,749



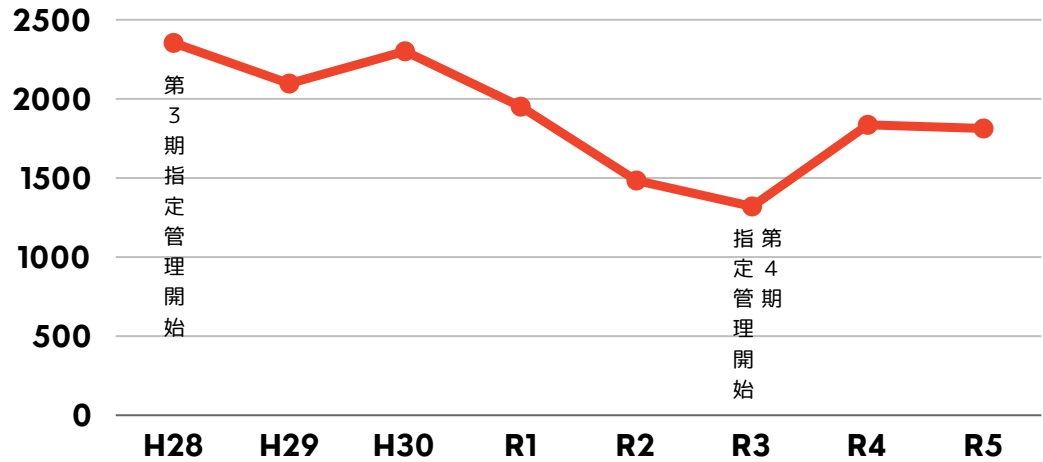
利用者数と比例して、利用団体数も増加している。コロナ禍以前よりも、利用団体数は増えている。

## センター来所団体数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
センター来所団体数	2,354	2,097	2,301	1,951	1,484	1,320	1,836	1,813



※センター利用団体のうち、①センター来所、または②主催セミナーに参加した団体件数



昨年度とほぼ同じ。コロナ禍以降、交流コーナーの利用団体は「同時時間帯に1団体」に制限中のため、来所団体数は減少している。

## 作業コーナーの利用数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
作業コーナーの利用数	1,596	1,856	1,824	1,516	1,098	1,041	1,194	1,355

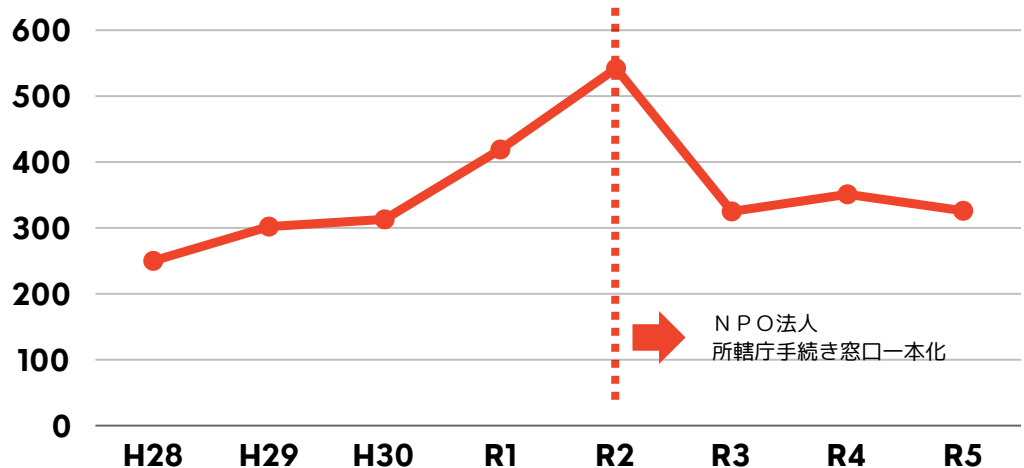
来所時の各コーナー利用については特に偏りはなく、全体的に微増の状況。

## 相談対応状況

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
相談カード案件	250	302	313	419	542	325	351	326

平均  
(2021~2023)  
**334**  
件/年

※まとまった相談（相談カード案件）



昨年度より微減。コロナの影響で、2021年度は相談件数が増加したが、この3年は、330件程度/年（平均）。

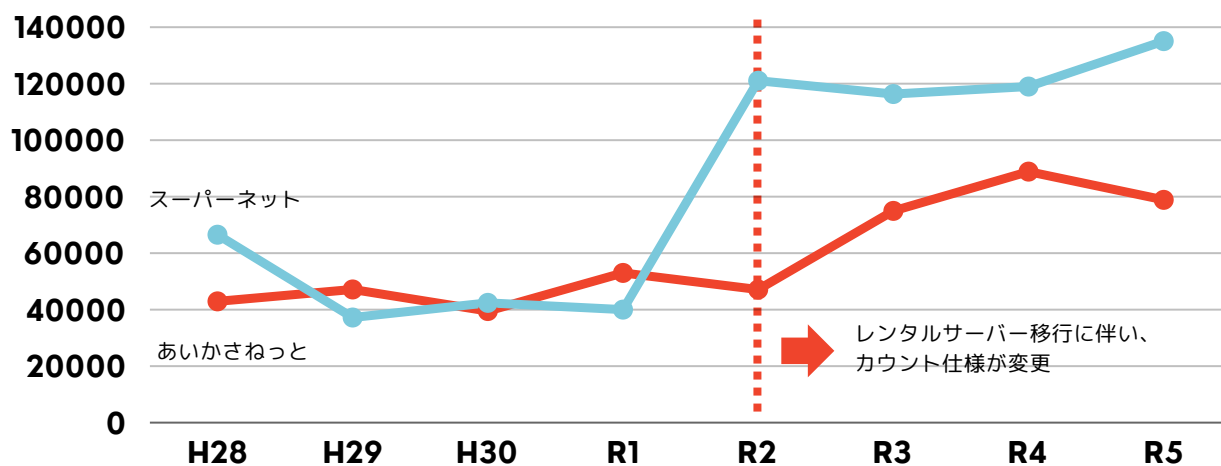
## 寄せられた相談内容

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
法人制度全般	19	10	7	3	5	12	14	26
NPO法人の設立	35	61	79	58	77	32	75	61
NPO法人の所轄庁手続き	29	70	57	78	91	72	42	26
NPO法人の登記手続き	10	23	17	15	17	12	27	18
NPO法人の解散	4	11	12	23	8	6	13	17
会計・税務・労務など	21	35	31	34	40	20	37	31
助成金・寄付	23	16	13	25	97	20	13	13
情報収集・開示	34	30	30	90	108	24	31	24
参考事例の紹介	13	6	14	17	24	17	13	12
その他	50	40	53	76	75	110	86	98
合計	238	302	313	419	542	325	351	326

法人の解散相談が増えた。役員変更の登記懈怠が多く、解散手続きに入るまでに苦勞する団体が多い。一方で、NPO法人格だけでなく、一般社団法人、株式会社など、自団体の運営に最も適した法人格の選択をめぐり、法人制度全般に関する相談も増えてきた。

## 情報サイトアクセス数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
スーパーネットHP	66,530	37,214	42,401	40,013	121,050	116,338	118,986	135,070
あいかさねっと	42,932	47,147	39,502	53,000	47,117	74,963	88,870	78,870



コロナ禍以降、あらゆる数値が減少する中で「あいかさねっと」アクセス数だけが増加したが、今年も減少（昨年度の88%）。LINE会員は増加。LINEから情報サイトへの誘導ができていないか。

## 04. ボランティア活動推進

「よい団体とは、よい活動とよい情報発信をする団体だ」と言われます。しかし、団体さんは情報発信が苦手。県民活動団体の高齢化や人材不足も影響しています。プロボノ、高校生・大学生の力を借りて、情報発信力や組織基盤を強化に取組みました。双方にとって、新しい価値観や視点・考え方に触れる機会にもなっています。



### 【県委託事業】プロボノ事業／プロボノワーカークバンク

プロボノに関する事業は2020年度から実施しており、今年度は全国から延べ59名がプロボノ活動に参加しました。

- ・プロボノワーカークバンク情報
- ・今年度の支援実績（14団体）
- ・ワンデイプロボノ活動報告
- ・アンケート結果について



### 【県委託事業】未来へつなぐ！若者の県民活動促進事業

高校生、大学生等が活動を体験した県民活動団体の紹介動画などをボランティア・チャレンジ実行委員会（事務局：県民生活課県民活動推進班）YouTubeチャンネルへ掲載しています。

また、22団体の活動紹介記事を作成し、情報発信の強化を図りました。



### 【センター事業】公益活動支援 スキルアップ研修

オンラインセミナーを開催し、あらためてボランティアとは何かについて考え、ボランティア受入の心得を学びました。

ボランティアを受入れることは、団体の活動を知ってもらうこと、良き理解者を得るための活動の一つであることを団体側は心に留めなければなりません。

ボランティアはNPOへの「参加」の一つ。ボランティアとして関わってくれる人は、団体のパートナー。積極的に、関わる人を増やすことが大事だと考えています。スマホの保有率が一人1台といわれるご時世、インターネットを活用した情報発信は有効な情報収集の方法です。簡単に情報に触れることは活動への参加のしやすさにもつながります。



## あいかさねっとについて

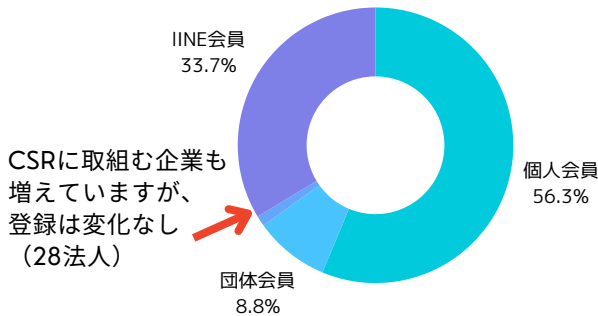


「あいかさねっと」は、ボランティアをしたい個人・団体・企業とボランティアをしてほしい団体をインターネットでつなぐシステムです。2015年11月に運用を開始しています。現在では、LINEによる問合せも可能。やまぐち健幸アプリとの連携でポイント加算などの特典もあります。

### あいかさねっと会員

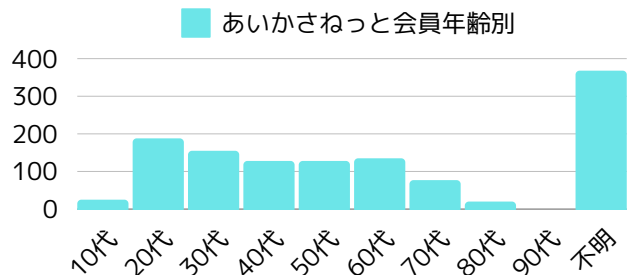
- ★登録者数1,512名
- ★LINE会員767名  
(2024.3.31現在)

個人会員 団体会員  
企業会員 IINE会員



### あいかさねっと個人会員（年代別）

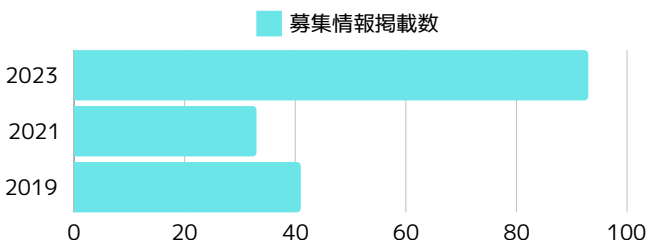
- ★会員数の多い順
- 1位：20代、2位：30代、3位：60代
- 団体会員となっている高校もあります



令和5年度県民活動白書より

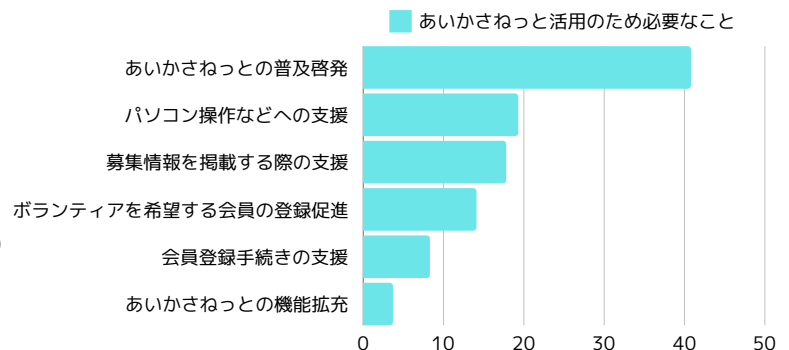
### あいかさねっとボランティア募集

- ★ボランティア募集情報の掲載数 93件  
(昨年度の2.3倍)



### 活用するために必要なこと

- ★あいかさねっとの使い方（操作方法）サポート
- ★あいかさねっとの認知度UP



県民活動白書によると、あいかさねっとを知らない団体は、依然として半数近くを占めています。まずは、団体含め県民にあいかさねっとを知ってもらうことが必要。特に、10～20代の若い世代へ情報を届け、参加を促したいです。そのためにも、情報発信の方法と、チラシ配架や設置の見直しが必要と考えています。

## 05. 受講者・参加者／施設利用者 満足度アンケート結果

### ★県民活動支援業務

区 分	実施回数 (月日)	アンケート結果分析
【研修】 NPO学びの教室 ①法人事務編	5月18日	参加者アンケートによる満足度の平均点は90.5点。 法人には、各専門性に基づく通常業務と事務局を担当するスタッフが兼務するケースは珍しくない。法人事務は扱う範囲も広いこともあり、「事務まわりで理解が不明確になっていた点が確認できた」との声が複数寄せられ、適切に学びの機会が提供できた。
【研修】 NPO学びの教室 ②税務編「NPOと税金あれこれ」	7月6日	参加者アンケートによる満足度の平均点は89.6点。 NPOに関わってくる税務の全般論を学ぶ内容で、講師による丁寧な説明により参加者の理解度が高まったこともあり、高い評価を得た。一方、消費税について更なる解説を望む声が複数寄せられており、当該テーマに課題を抱える団体側のニーズが把握できた。
【研修】 NPO学びの教室 ③税務編「インボイス制度と電子帳簿保存法」	7月13日	参加者アンケートによる満足度の平均点は85.0点。 新たな税制度についてNPOとしてどう対応すべきか不安に感じている団体が多く、学んだ内容の難しさを感じるとともにある程度の理解ができたことで、一定以上の評価をする意見が多かった。
【研修】 NPO学びの教室 ④労務編「NPOの人材～ボランティアから雇用まで」	8月24日	参加者アンケートによる満足度の平均点は94.1点。 例年「労務」をテーマとした研修を開催しているが、今回は特にNPOならではの、判断が悩ましい「人材マネジメント」に着目した内容。有償ボランティア・役員・雇用職員・委託先と各メンバーとの適切な関わり方について、講師がわかりやすく整理・解説した内容に高い評価が集まった。
【研修】 NPO学びの教室 ⑤会計編「NPO法人の会計報告」	9月21日	参加者アンケートによる満足度の平均点は90.4点。 5月の「法人事務編」に続き、センタースタッフが講師を担当。大半の受講者から「分かりやすかった」との感想が出ており、理解度・満足度ともに高い研修が実施できた。
【研修】 組織と事業の見直しセミナー コミュニティマネジメントセミナー 「強くあたたかい組織の作り方」	3月11日	参加者アンケートによる満足度の平均点は99.1点。 従来より、各団体から聞く諸課題には組織内の人間関係に起因する問題も少なくなく、本研修はその点を特化した内容のもの。その内容と参加者の課題感がかなりフィットしていたようで、ほとんどの参加者が非常に高い満足度を得たことが示された。

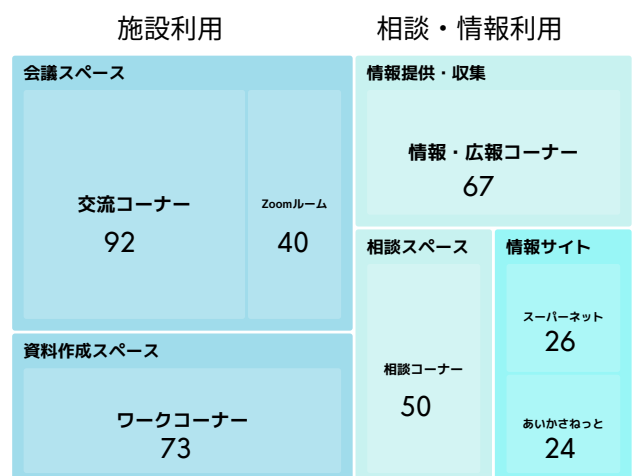
<p>【研修】 公益活動支援スキルアップ研修 「ボランティアとは何か ボランティア受入の心得を学ぶ」</p>	2月16日	<p>参加者アンケートによる満足度の平均点は97.5点。 継続的にボランティアに活動へ関わってもらうためには、広くボランティアの受入れや関係づくりについてのマネジメント的な観点が必要となる。講師からは多様な事例と情報を通じて受入れの心得についての解説がなされ、その分かりやすさや内容の質に対して非常に高い評価を得た。</p>
<p>【研修】 コミュニティ学習会 災害対応セミナー 「実際に被災した時から、それぞれの立場で具体的にどう動けばよいか」</p>	3月6日	<p>参加者アンケートによる満足度の平均点は85.0点。 本研修の参加者は、防災への意識はあるものの「実際に発災した直後から各現場でどのように動くべきか」について関心があり、具体的にハザードマップを参照しながら発災時の行動を想定する本研修の内容については一定以上の満足度を感じた様だった。 一方、異なる立場の参加者との情報交換をより求める声も多く、今後の交流会を企画する際の参考となった。</p>
<p>【研修】 県民活動の課題解決セミナー 「NPOにも必要な契約の基礎知識」セミナー</p>	2月17日	<p>参加者アンケートによる満足度の平均点は93.8点。 本来、法律の素人にはわかりにくく感じる「契約」というテーマに対して、NPO支援の経験を多く持つ弁護士が平明に解説する内容だったため、多くの受講者から理解度と満足度の高い評価が寄せられた。 特に、委託業務契約について課題を感じる声が複数あり、主体間の連携協働を促進する環境整備という観点でも引き続き本テーマに関するフォローの必要性を認識した。</p>
<p>【交流】 災害支援のNPOネットワーク 「HAPPYぼうさいプロジェクト みんなで取り組みたい防災」</p>	11月27日	<p>参加者アンケートによる満足度の平均点は92.5点。 各現場では周囲にいる人達を防災への取り組みにどう巻き込んでいくか、という点に課題を感じる声が多く見受けられ。本研修では特に参加促進に重点をおいた内容とした。 日頃の生活実感から取り組める防災で、実践例を交えた内容の話が聞けたという点に満足感を覚えた参加者が多く、総じて高い評価を得た。</p>

## ★施設運営業務

施設利用者が記載する「利用者カード」において常に希望や意見を承っているが、別途年度末に「利用者満足度アンケート」も実施。計118件の回答が寄せられた。

### ●センター機能の利用

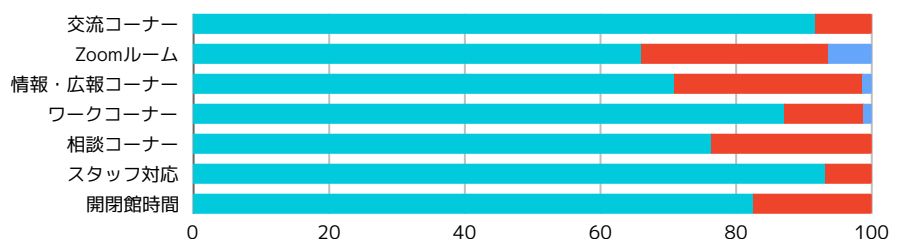
「知っている・利用あり」という回答の割合は右の通り。「資料作成・会議スペース」の施設利用の層と「相談・情報サイト利用」の層が分かれている状況・傾向は従来よりあったが、今年度も同じ様子が窺えた。



■ 大変よい・よい ■ 普通 ■ あまりよくない・悪い

### ●センターの各サービス

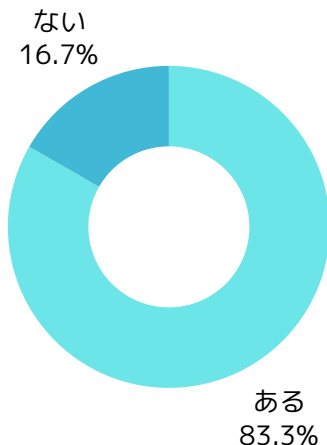
「利用経験なし」「無回答」を除くと、右のような割合で評価された。「大変よい・よい」が8割超で、概ね高い評価を得られている。



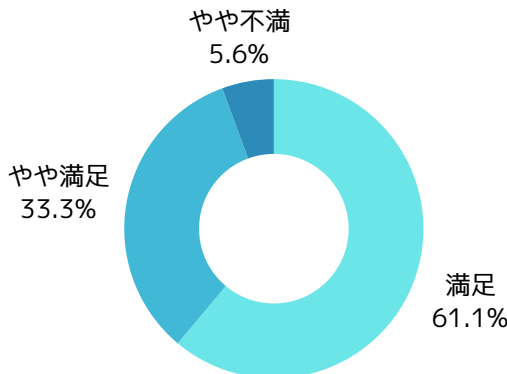
★【県委託事業】プロボノ事業／プロボノワーカーバンク（活動レポートより抜粋）

プロボノワーカー編

●今年度の事業以外でプロボノ経験はありますか？



●プロボノ活動を通しての内容の満足度を教えてください。



●プロボノ活動に参加する一番のメリットを教えてください。

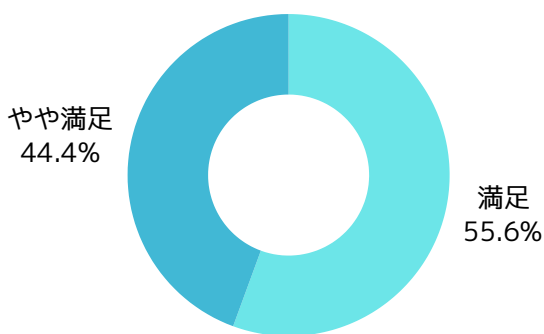
- ・自分の仕事以外の立場で関わることで、客観的視野と主観的視野のバランスをとった自己成長ができること。
- ・人脈が広がることと、知らない業態の課題を知ることができることが良い。
- ・新しい価値観・視点・考え方に触れられること。

●今後のための見直すべき点や改善点を教えてください。

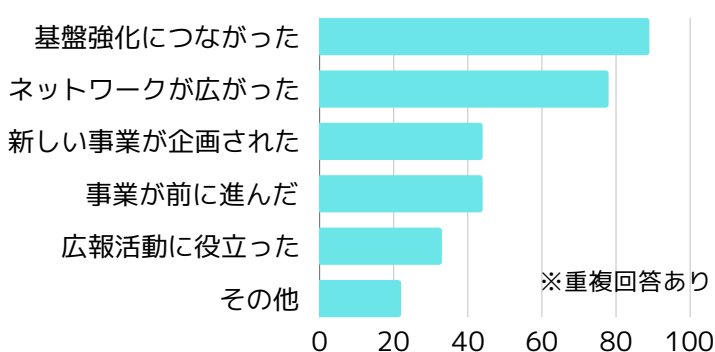
- ・本取組の情報発信生を高める必要があると思う。
- ・もっと、広くプロボノ活動を募集されると、若い世代の方も参画していただけるのではと思う。
- ・プロボノメンバー自身が、身近なところから輪を拡げていく必要があるのかなと思う。

支援受入団体編

●本事業に参加しての満足度を教えてください。



●本事業の参加を通じてよかったことを教えてください。



●今後のため見直す点や改善点を教えてください。

- ・現地での交流時間がもう少し長くあるとよかった。他のプロボノの方たちとの交流も深めたかった。
- ・プロボノの提供するスキルと受入団体の求めるニーズとが合っているか、再調整するプロセスが入るとよかったのではないかと感じた。
- ・紹介されて始めたが、基本的スタンスやどこまでお願いしたらいいのかわかりづらかった。
- ・12月くらいからの開始だったので、2・3月での終了はかなりタイトな感じだった。これから団体内で消化して実のあるものにしていかないといけないと思っている。でも本当によい機会で、アドバイスと共に刺激をいただいた。
- ・開始時期が遅かったのと、得意ではないITノウハウを理解するのが難しかったせいで年度内にゴールできなかった。事業のため年度での区切りは必要だと理解しているが、やはり、ゴールしたかったので心残りもある。引き続きご協力いただけるとお聞きしているので、ゴールできるよう進めたいと思う。

## 06. 次のステップ **NEW**

指定管理業務、県からの委託事業、休眠預金事業は、2024年度も継続して実施します。その他、以下のような事業・取組みを新たに始める予定です。

### 【県民ネット事業】JVOAD連携事業



災害支援の中間支援組織であるJVOADと連携して、災害支援のNPOネットワークづくりを行います。  
この「地域版・災害支援ネットワーク立ち上げ支援事業」は、これまでJVOADとの関係が充分でなかった空白地域のNPOや企業などとの関係強化と地域のNPO支援センターの災害対応力の強化のために、日本NPOセンターの協力を得て実施されます。

### 【センター事業】情報の受発信事業



県民活動支援センターは2つの情報サイトを管理運営しています。  
★山口県県民活動スーパーネット  
★あいかさねっと（社会貢献活動支援ネット）  
より一層、若い世代へアプローチするため、Instagramの運用を始めます！



「山口県県民活動スーパーネット」は、県民の方や県民活動団体などを主な対象に、団体情報やイベント・募集情報、助成情報等、県民活動に関する各種情報を一元的に提供する、県内最大の県民活動情報サイトです。



やまぐち社会貢献活動支援ネット「あいかさねっと」は、ボランティアをしたい個人とボランティアしてほしい団体をつなぐマッチングサイトです。ウェブサイトでは、ボランティア参加希望者とボランティア募集团体等の情報が掲載されています。会員登録するとマイページの利用ができ、ボランティアへの申込みなども行えます。



---

## 連絡先

### ■NPO法人やまぐち県民ネット21

753-0091 山口市天花1丁目11-21 ストークハイツ201号

tel 083-921-2437

fax 083-921-2437

mail yamaguchikenminnet@gmail.com

**BLOG**



**SNS**



### ■やまぐち県民活動支援センター

753-0064 山口市神田町1-80 パルトピアやまぐち2階

tel 083-934-4666

fax 083-934-4667

mail yamas@kenmin.pref.yamaguchi.lg.jp

**HP**



**BLOG**



**SNS**

